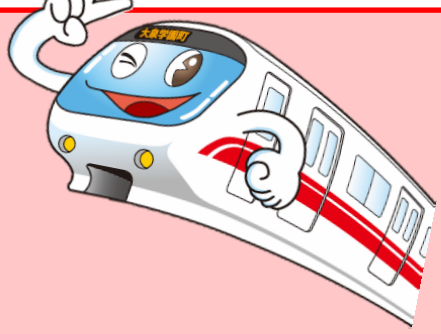


大江戸線延伸ニュース 第13号



平成27年4月発行

大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸推進課



大江戸線延伸が

東京都から整備効果が高い路線 に位置付けられました

東京都では交通政策審議会の次期答申に向け、学識経験者等で構成される委員会を設置し、都における今後の鉄道ネットワークの在り方等について調査検討を進めています。本年3月6日、検討状況の中間取りまとめが東京都から公表され、大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町）は、都内で検討されている多くの路線の中でも整備効果の高い5路線のひとつに選定されました。（裏面参照） 都は平成27年度中に考え方を取りまとめ、国に提出する予定です。交通政策審議会では、都の考え方を踏まえ答申すると思われま

す。区では引き続き、次期答申を見据えながら早期実現に向けて取り組んでいきます。

★前川区長からのメッセージ

大江戸線の延伸は、私の公約の重要な柱です。この一年間、東京都との実務的な協議を進めるなど、全力で取り組んできました。このたびの東京都からの発表は、大きな前進であり、高く評価していますが、実現に向けては、新駅周辺を含む沿線まちづくりの具体化や整備資金の確保が課題であり、これからが重要であります。大江戸線の延伸は、練馬区民の悲願であり、一日も早く実現することが区長である私の責務と考えています。引き続き、区として全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

早期実現に向け都への要請活動!!

大江戸線延伸促進期成同盟（会長：前川耀男練馬区長）は、平成26年11月20日、東京都庁を訪れ、早期の事業化を要望するとともに、その実現のため、練馬区と実務的な協議を進めることなど3項目を要請しました。こうした具体的な要請をするのは初めてのことです。（要望書は裏面参照）

対応した前田副知事からは「練馬区と関係部局の間で議論を一層進めていきたい。そして、皆様のご支援ご尽力を賜りながら、都としても取り組みを進めていきたい。」と回答を頂きました。



前田副知事（左）へ要望書を
手渡す前川区長（右）

- ◆実施日：平成26年11月20日（木）
- ◆出席者
 - 【東京都】前田副知事、新田交通局長、佐野都市整備局技監、邊見建設局道路監 他
 - 【大江戸線延伸促進期成同盟】
 - 会長 前川区長
 - 副会長 小川大泉学園町東町会長、浅沼練馬区土支田町会長、村上区議会議員、山内副区長 他
 - 【練馬区議会大江戸線延伸および沿線地域まちづくり促進議員連盟】
 - 会長 中島練馬区議会議員

「大江戸線延伸に関するパネル展示会」を開催しました



新駅駅前広場予定地に啓発看板を設置しました



土支田



大泉町



大泉学園町

広域交通ネットワーク計画について

《交通政策審議会答申に向けた検討の中間まとめ》 平成27年3月 東京都 〈抜粋〉

現在の検討状況

これまでの概略的な検討においては、現答申に位置付けられている路線等（東京8号線延伸、東京11号線延伸、東京12号線延伸、新空港線「蒲蒲線」、JR中央線複々線化、JR京葉線延伸、区部周辺部環状公共交通、つくばエクスプレス延伸、多摩都市モノレール延伸など）について、事業主体・収支採算性や技術面等、多くの課題が存在するものの、鉄道ネットワークの強化や周辺路線の混雑緩和、沿線地域の利便性向上等の整備効果が見込まれる。（中略）

なお、以下の5路線について、整備効果が高いことが見込まれることから、想定される課題とともに詳細を以下に示す。

（中略）

○東京12号線延伸（光が丘～大泉学園町）

【整備効果】

本路線は、区部周辺部に存在する鉄道利用が必ずしも便利でない地域内を結ぶことで、沿線の利便性の向上に資する路線である。さらに、都心部の中核拠点や都心周辺部とのネットワークが強化される。

【今後の課題】

本路線の収支採算性の確保は、開業後の需要の確保が前提となるため、沿線まちづくりの具体化等による将来的な輸送需要の確保が必要である。また、既存の補助制度以上の資金を確保することが前提となることから、事業スキーム等の検討の深度化が必要である。

(写)

都営地下鉄大江戸線の早期延伸に関する要望書 〈抜粋〉

都営地下鉄大江戸線の大泉学園町までの延伸は、平成12年（2000年）の運輸政策審議会答申第18号において「少なくとも目標年次(2015年)までに整備着手することが適当である路線」として位置付けられていますが、現在のところ事業化に至っておりません。

現在、東京都では、東京圏の鉄道ネットワークのあり方を含めて総合的な交通政策の検討を行っているとのことですが、私たちは、都営地下鉄大江戸線は、乗降客数が増加を続けており、今後も鉄道ネットワークにおける重要な機能を担っていく路線であると認識しています。

都営地下鉄大江戸線の大泉学園町までの延伸は、東京圏全体の安全で良質な都市生活基盤の形成に欠くことのできない鉄道路線であるとともに、その実現が練馬区民の悲願でもあり、改めて都営地下鉄大江戸線延伸の早期の事業化を要望いたします。

その実現のため、以下3点を進めていただくようお願いいたします。

記

- 1 事業化の意思を明確にすること。そのうえで、国の諮問機関である交通政策審議会の答申では、優先的に整備すべき路線として位置付けられるよう働きかけること。
- 2 大江戸線の導入空間となる都市計画道路補助230号線の事業認可期間内に事業が完了するよう努めること。
- 3 事業化に向けて、練馬区と実務的な協議を進めること。

平成26年11月20日

大江戸線延伸促進期成同盟 会長（練馬区長） 前川 燿 男

東京都知事 舛 添 要 一 様